

平成 30 年度

鹿児島大学大学院連合農学研究科

後期 3 年だけの博士課程

(10 月入学コース)

# 学 生 募 集 要 項

PROSPECTUS

ADMISSION FOR DOCTORAL COURSE AT  
THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCES  
KAGOSHIMA UNIVERSITY  
(Three-year doctoral course)  
ENTRANCE IN OCTOBER, 2018

鹿児島大学大学院連合農学研究科  
(構成大学：佐賀大学・鹿児島大学・琉球大学)

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCES  
(AGRICULTURE & FISHERIES)  
SAGA UNIVERSITY  
KAGOSHIMA UNIVERSITY  
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

### 【入試日程】

事 項	日 程
出願資格認定申請	平成30年 5 月15日（火）～ 5 月17日（木）
出願期間	平成30年 6 月11日（月）～ 6 月15日（金）
試験日	平成30年 9 月 6 日（木）
合格者発表	平成30年 9 月11日（火） 10時
入学手続	平成30年 9 月中旬

※詳細は、該当ページで必ず確認してください。

### 【出願書類】

	書 類	連大入試様式	該 当 者	確認
1	入学・進学願書	様式第1号	全員	
2	検定料納付確認票 写真票 受験票	所定様式 (切り離し不可)	全員	
3	履歴書	様式第2号	全員	
4	成績証明書		全員	
5	写真（2枚）		全員	
6	修士課程修了証明書又は修了見込証明書		全員	
7	修士論文等	様式第3号	全員	
8	研究計画書	様式第4号	全員	
9	受験承諾書	様式第5号	在職中の者	
10	住民票の写し		外国人の志願者	
11	指導教員予定者届	所定様式	全員	
12	国費外国人留学生証明書		国費外国人留学生	

※詳細は、該当ページ（2～5ページ）で必ず確認してください。

※この書類は提出の必要はありません。確認用として使用してください。

## 鹿児島大学大学院連合農学研究科の3つのポリシー

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、佐賀大学・鹿児島大学・琉球大学の3構成大学が相互に協力し、多彩な専門の教授陣による質の高い博士教育を実施することで、研究者、技術者、教育者として「進取の精神」に溢れるリーダーの育成を目指します。

そのために次の3つのポリシーを掲げます。

### I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、全学の学位授与の方針及び連合農学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、博士の学位を授与します。

博士課程において、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

1. 「博士」として社会から期待される品位と高度な専門知識を持ち、農林水産分野の課題探求と解決に至るまでの研究を、自立的に遂行できる能力
2. 「研究者・技術者・教育者」として、地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる能力とリーダーシップ精神を発揮できる能力

### II. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施します。

1. 学位プログラム教育：農学に関連する幅広い学問と高度な専門知識・技能を修得させ、研究指導を通して諸課題を検索・解決する能力を向上させる教育を行います。
2. 高度人材養成教育：博士課程学生として確かな分析力・俯瞰力・説明能力を身につけさせるとともに、困難な課題に挑むチャレンジ精神やグローバルな視野の獲得など、実社会の発展に貢献できる能力を育てます。

### III. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

<連合農学研究科の教育目標>

1. 農学に関連する幅広い学問と高度な専門知識・技能を修得し、諸課題を探索・解決する能力を有する人材を育成します。
2. 確かな分析力・俯瞰力・説明能力を身につけ、困難な課題に挑むチャレンジ精神やグローバルな視野を備え、地域社会と国際社会に貢献できる人材を育成します。

<入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）>

#### 1. 求める人材像

農林水産学分野、すなわち生命科学に基づく食料生産や生物資源環境に対する興味と問題意識を持ち、学位習得に至るまでの熱意と能力を備え、課題解決と学理探究を目指す、学生および社会人を国内外から積極的に受け入れます。

#### 2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

農水産学及び自然科学における広い知識と専門分野における修士レベルの学力、ならびに豊かな国際感覚と博士課程に必要な英語力が必要です。また、留学生については日本語の基礎力も望まれます。

#### 3. 入学者選抜の基本方針

修士課程を修了した者については、修士論文の内容と修士課程での成績、小論文試験（構成大学からの進学者は免除）の成績及び口頭試問でのプレゼンテーション（入学後の研究課題・研究計画を含む）と質疑応答の内容から可否を判定します。また、修士課程を修了していない者については、受験資格の審査を行い、認定された場合、最終出身学校の成績、小論文試験の成績及び口頭試問でのプレゼンテーション（修士論文に相当する内容と入学後の研究課題・研究計画を含む）と質疑応答の内容から可否を判定します。

## 目 次 contents

1. 募集人員 (The Number of Students to Be Admitted) .....	1
2. 出願資格 (Qualification for Students to Be Admitted) .....	1
3. 出願期間 (Period of Application) .....	2
4. 出願手続 (Application Procedure) .....	2
5. 出願資格の認定について..... (Authorization of Applicants for Having a Qualification Equal to or Higher than Master's Degree)	5
6. 「国家建設高水平大学公派研究生項目」による入学志願者について .....	6
(Applicants for the Graduate School under the “Chinese Government Graduate Student Overseas Study Program”)	
7. 障害を有する入学志願者の事前相談について..... (Preliminary Consultation for Applicants Who are Challenged)	6
8. 選抜・選考方法 (Method of Selection) .....	7
9. 試験の日時及び場所 (Time and Venue of Examination) .....	7
10. 合格者発表 (Announcements of Successful Applicants) .....	7
11. 入学・進学手続等 (Enrollment Procedure) .....	8
12. 注意事項 (Important Notices) .....	8
13. 社会人早期修了制度..... (Early Completion Program for Working Students)	8
14. 入試情報の公開・開示..... (Release and Disclosure of Information Concerning Entrance Examinations)	9
鹿児島大学大学院連合農学研究科（後期3年みの博士課程）の概要.....	10
(Outline of Doctoral Course at the United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University)	
主指導教員の専門科目・教育研究分野一覧.....	12
(Contents of the Major Chair, and Instruction and Research Fields of Major Advisory Professor)	
交通機関利用略図.....	15
(Map of the United Graduate School of Agricultural Sciences Kagoshima University)	

鹿児島大学大学院連合農学研究科は佐賀大学，琉球大学及び鹿児島大学が参加した独立研究科（博士課程）であり，それぞれの大学の農学研究科（修士課程）と鹿児島大学水産学研究科（修士課程）を基盤に設置し，タカラバイオ株式会社との連携大学院も設置しております。

## 記

### 1. 募集人員

専攻	募集人員
生物生産科学	若干人
応用生命科学	若干人
農水圏資源環境科学	若干人

### 2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成30年9月までにこれらの課程を修了見込の者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月までに学位を授与される見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月までに学位を授与される見込みの者
- (6) 外国の学校，出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格見込みで，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者  
(博士論文研究基礎力審査)
  - 1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専門科目分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し，又は涵養すべきものについての試験
  - 2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査
- (7) 文部科学大臣の指定した者
  - 1) 大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達した者  
出願資格(7)又は(8)により出願する者は，「5. 出願資格の認定について」を参照してください。

### 3. 出願期間

平成30年6月11日(月)から6月15日(金)まで。

受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合は、書留速達とし、6月15日(金)午後5時までに必着とします。

### 4. 出願手続

- (1) 提出先 鹿兒島大学連合農学研究科連大事務係  
〒890-0065 鹿兒島市郡元一丁目21番24号  
電話 099-285-8795

#### (2) 出願書類

- ① 入学・進学願書：本研究科所定の用紙(連大入試様式第1号)に必要事項を記入してください。

- ② 検定料：30,000円

別紙所定用紙により、郵便局の窓口で、検定料30,000円を払い込み、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」の日附印欄の押印を確認の上、別紙「検定料納付確認票」に貼付して提出してください。

なお、郵便局での取扱い時間は、午前9時から午後4時ですので注意してください。

ただし、次のいずれかに該当する者は不要です。

- A 平成30年9月に構成大学の修士課程を修了見込の者
- B 平成27年9月以降に構成大学の修士課程を修了し、受験する者(構成大学の修士課程を修了し、3年以内に受験する者)
- C 日本国政府から奨学金が支給されている国費外国人留学生
- D 外国政府派遣留学生等のうち、外国政府等から支給される奨学金に、本学の大学院課程(標準修業年限)を修了するための授業料相当額が含まれ、かつ、検定料相当額が含まれない場合で、次のいずれかに該当する者
  - (a) 外国の政府、外国の地方公共団体(州等)から奨学金が支給されている者
  - (b) 国際機関、日本国政府が行う国際協力を実施している機関のうち、本学が承認するものから奨学金等が支給されている者
  - (c) (a)、(b)に準ずるもののうち、本学が承認する機関から奨学金が支給されている者

※(a)～(c)に該当する機関については、出願前に本学の承認が必要となりますので、事前にお問い合わせのうえ、次の書類を提出してください。

- 1) 検定料不徴収申請書(連大入試様式第11号)
- 2) 外国政府派遣留学生等であることを証明又は確認できる書類
- 3) 奨学金に授業料相当額が含まれ、かつ、検定料相当額が含まれないことを証明又は確認できる書類(連大入試様式第13号)
- 4) 「外国の公的な団体の概要説明書」及び「奨学金の規約」等

※検定料に改定があった場合は、改定後の金額を納入いただくことになります。

※国費外国人留学生は、国費外国人留学生証明書を提出してください。

- ③ 履歴書：本研究科所定の用紙(連大入試様式第2号)に記入してください。

- ④ 成績証明書：最終出身学校の成績証明書
- ⑤ 写 真：2枚，出願前3カ月以内に撮影したものを入学・進学願書及び写真票の所定のところに貼付してください。  
(上半身，脱帽，正面向き 縦6cm×横4.5cmのもの)

⑥ 修士課程修了証明書又は修了見込証明書

⑦ 修士論文等：(連大入試様式3号を表紙としてつけてください。)

**ア. 修士課程修了の者**

1) 修士論文の概要

A4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は1,200語以内

2) 修士論文のない場合

志望理由書

志望動機及び修士課程で学んだことをA4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は1,200語以内

3) 上記以外の研究発表等の資料

**イ. 修士課程修了見込の者**

1) 研究経過報告書

A4判の用紙を使用し，和文の場合は12,000字以内，英文の場合は5,000語以内，いずれも図表等を含む。

2) 研究経過報告書の概要

A4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は1,200語以内

3) 研究を行っていない場合

志望理由書

志望動機及び修士課程で学んだことをA4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は1,200語以内

4) 上記以外の研究発表等の資料

**ウ. 外国において，博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格した者**

1) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認書類

(連大入試様式第9号)に關係資料を添付

2) 志望理由書

志望動機及び修士課程で学んだことをA4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内英文の場合は，1,200語以内

3) 上記以外の研究発表等の資料

**エ. 外国において，博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格する見込の者**

1) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認書類

(連大入試様式第10号)に關係資料を添付

2) 志望理由書

志望動機及び修士課程で学んだことをA4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は1,200語以内

3) 上記以外の研究発表等の資料

**オ. 「出願資格(7)又は(8)」に基づく志願者**

1) 修士学位相当の論文(写)

2) 修士学位相当の論文の概要

A4判の用紙を使用し，和文の場合は2,000字以内，英文の場合は，1,200語以内

3) 上記以外の研究発表等の資料

⑦修士論文等

提出書類 課程	修士論文 の概要	研究経過 報告書	研究経過報 告書の概要	博士論文研究基礎力 審査に相当する審査 に係る確認書類 ※ (連大入試様式第9号) に 関係資料を添付	博士論文研究基礎力 審査に相当する審査 に係る確認書類 ※ (連大入試様式第10号) に 関係資料を添付	修士学位 相当の論文 (写)	修士学位 相当の論文 の概要	志 望 書 理 由 書	研究発表等 の 資 料
ア. 1) 修士課程 修了の者	○								△
ア. 2) 修士課程 修了の者(修 士論文のない 場合)								○	△
イ. 1) 2) 修士課 程修了見込み		○	○						△
イ. 3) 修士課程 修了見込み (研究を行っ ていない場合)								○	△
ウ. 外国において、 博士論文研究 基礎力審査に 相当する審査 に合格した者				○				○	△
エ. 外国において、 博士論文研究 基礎力審査に 相当する審査 に合格する見 込みの者					○			○	△
オ. 「出願資格(7) 又は(8)」に 基づく志願者						○	○		△

※連大入試様式3号を表紙として添付

○：提出書類，△：該当する場合に提出する書類



- ⑧ 研究計画書：どのような分野で、どのような内容のことを研究しようとしているのかが分かるように記入してください。  
(連大入試様式第4号を表紙としてつけてください。)
- ⑨ 受験承諾書：官公庁、企業等に在職している者は、所属長又は代表者の受験承諾書を提出してください。(連大入試様式第5号)
- ⑩ 住民票の写し(原本)等：外国人の志願者は、市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写しを提出してください。なお「受験」のために入国する場合はパスポートの写しを提出してください。

注1. 入学志願者は、あらかじめ希望する主指導教員予定者に「指導教員予定者届」(別添様式)の記載を依頼して、出願書類と同時に提出してください。

2. 出願書類を郵送する場合には、必ず書留速達としてください。

## 5. 出願資格の認定について

「2. 出願資格(7)又は(8)」に該当する者の認定は、下記の提出書類により行います。  
なお、必要に応じて口頭試問を行う場合があります。

### (1) 提出書類

- ① 入学試験出願資格認定申請書(連大入試様式第6号)
- ② 履歴書(連大入試様式第2号)
- ③ 最終出身学校の卒業証明書
- ④ 研究歴証明書(連大入試様式第7号)
- ⑤ 研究業績書(連大入試様式第8号を表紙としてつけてください。)  
(「4. 出願手続(2)⑦オ.の2)」の論文の概要)
- ⑥ 研究成果資料  
研究業績の基礎となる論文。その他に、著書、学術論文、学術報告、学術講演、特許等の研究業績を示す資料があれば添付してください。

### (2) 提出期間

平成30年5月15日(火)から5月17日(木)までとします。

郵送による場合も5月17日(木)午後5時までに必着とします。

### (3) 提出先

鹿児島大学連合農学研究科連大事務係(「4. 出願手続(1)」参照)

### (4) 認定

認定の結果は、6月5日(火)頃本人宛通知します。

## 6. 「国家建設高水平大学公派研究生項目」による入学志願者について

中華人民共和国政府が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目」により、本研究科に入学を志願する者については、入学料及び検定料が不徴収となる場合があります。

出願前に本学の承認が必要となりますので、事前にお問い合わせのうえ、次の書類を提出してください。

- (1) 検定料不徴収申請書（連大入試様式第11号）
- (2) 入学料不徴収申請書（連大入試様式第12号）
- (3) 中国国家留学基金管理委員会が発行する「国家建設高水平大学公派研究生項目」による派遣学生に採用されたことを証明又は確認できる書類（採用通知書等）

また、入学後、本研究科が学業優秀であると認定した場合、所定の申請により、授業料が免除になる場合があります。

## 7. 障害を有する入学志願者の事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障害等（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ本研究科と相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用しても文字等を認識することが不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話し声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢 体 不 自 由 者	1. 肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のも
病 弱 者 「身体虚弱者を含む」	1. 疾患の状態（慢性の呼吸器系疾患等）が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のも

\* 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

### (1) 相 談 時 期

相談の内容によっては、対応に時間がかかり、特別な配慮が講じられないこともありますので、出願期間の始期の数日前までに相談してください。

### (2) 相 談 方 法

下記事項を記載した書類（様式任意）を提出願います。

- ①志望の専攻名，連合講座名，主指導教員予定者名
- ②出身大学，学部，学科等の名称
- ③障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ④受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑤修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑥出身大学でとられていた特別な配慮
- ⑦日常生活の状況

(3) 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号  
鹿児島大学連合農学研究科連大事務係  
(Tel: 099-285-8795, Fax: 099-285-8799)

8. 選抜・選考方法

入学者の選抜は、小論文、口頭試問及び成績証明書により総合して行います。進学者の選考は、口頭試問及び成績証明書により総合して行い、小論文を免除します。

なお、進学者とは、平成30年9月に佐賀大学、鹿児島大学、琉球大学の各大学院博士前期（修士）課程を修了見込みで、引き続き本連合農学研究科に進学する者を指します。

(1) 小論文（A4判，横書き，用紙1～2枚：1時間以内）

(2) 口頭試問

修士論文，研究経過報告書若しくは修士学位相当の論文の内容及び研究計画書を中心に行い，専門的学力を審査します。

なお，修士論文，研究経過報告書若しくは修士学位相当の論文のない者及び外国において，博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格見込みの者は，志望理由書（志望動機，修士課程で学んできたこと），研究計画書について試問し，専門的学力及び研究遂行能力を審査します。

【内容説明20分程度（本研究科では，液晶プロジェクターのみ口頭試問会場に用意します。すべて志願者の責任において機器の準備・調整を行ってください。）  
質疑その他20分程度】

(3) 成績証明書

9. 試験の日時及び場所

(1) 小論文及び口頭試問

日	時	場	所
平成30年9月6日(木)	9:00～	鹿児島大学大学院 連合農学研究科等	

注 集合時刻等については，受験票送付（8月3日頃）の際に通知します。

10. 合格者発表

平成30年9月11日（火）10時，鹿児島大学大学院連合農学研究科に掲示するとともに合格者には合格通知書を送付します。

## 11. 入学・進学手続等

(1) 入学・進学手続期間及び提出書類等  
合格通知書と同時に通知します。

(2) 入学に要する経費

① 入学料：282,000円

ただし、次のいずれかに該当する者は不要です。

A 平成30年9月に構成大学の修士課程を修了後、引き続き進学する者

B 平成27年9月以降に構成大学の修士課程を修了し、受験する者（構成大学の修士課程を修了し、3年以内に受験する者）

C 日本国政府から奨学金が支給されている国費外国人留学生

D 外国政府派遣留学生等のうち、外国政府等から支給される奨学金に、本学の大学院課程（標準修業年限）を修了するための授業料相当額が含まれ、かつ、入学料相当額が含まれない場合で、次のいずれかに該当する者

(a) 外国の政府、外国の地方公共団体（州等）から奨学金が支給されている者

(b) 国際機関、日本国政府が行う国際協力を実施している機関のうち、本学が承認するものから奨学金が支給されている者

(c) (a)、(b)に準ずるもののうち、本学が承認する機関から奨学金が支給されている者

※(a)～(c)に該当する機関については、出願前に本学の承認が必要となりますので、事前にお問い合わせのうえ、次の書類を提出してください。

1) 入学料不徴収申請書（連大入試様式第12号）

2) 外国政府派遣留学生等であることを証明又は確認できる書類

3) 奨学金に授業料相当額が含まれ、かつ、入学料相当額が含まれないことを証明又は確認できる書類（連大入試様式第13号）

4) 「外国の公的な団体の概要説明書」及び「奨学金の規約」等

② 授業料：年間535,800円（前・後期に分けて納付してください。）

・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

・日本国政府から奨学金が支給されている国費外国人留学生は不要です。

※入学料、授業料に改定があった場合は、改定後の金額を納入いただくことになります。

## 12. 注 意 事 項

(1) 受験生は、試験当日受験票を必ず持参してください。

(2) 受理した出願書類等の変更は認めません。

(3) 出願等に関し不明な点がある場合には、鹿児島大学連合農学研究科連大事務係に照会してください。

## 13. 社会人早期修了制度

入学前に指定された研究業績を持ち、かつ社会人早期修了プログラムを選択した社会人には、入学後、所定の単位、研究業績等を満たした場合、2年で学位取得する制度（早期修了プログラム）があります。

なお、早期修了は2年での学位取得が確約されているわけではありません。

また、詳細については合格発表後の入学手続書類発送の際、案内いたします。

## 14. 入試情報の公開・開示

### 1. 入試情報の公開

連合農学研究科のホームページ（URL：http://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp/）に、当該年度の下記事項を公表する。

公開事項	公開時期
志願者数	試験終了後
受験者数	試験終了後
合格者数	合格者発表後
入学者数	入学者確定後

### 2. 入試情報の開示

#### ①試験問題の開示

小論文の試験問題を、請求に基づき開示します。（過去5年分）

#### ②入試成績に関する個人情報の開示

1. 受験生本人からの請求に基づき、当該受験生の小論文の評価（可否）、口頭試問の評価点数を開示します。
2. 入試成績の開示期間は合格者発表後2ヶ月間とします。
3. 入試成績の開示は、書面または口頭により行います。
4. 請求方法は、下記様式「大学院入試成績開示請求書」に「鹿児島大学大学院連合農学研究科入学試験受験票」（入試成績送付時に返送します。）を添えて、下記に請求してください。

なお、郵送による場合は、上記のほかに「書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒」を同封して、書留郵便により請求してください。（ただし、開示期間中の消印のあるものに限ります。）

3. 請求先：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号  
鹿児島大学連合農学研究科連大事務係  
（電話 099-285-8795）

#### 大学院入試成績開示請求書

平成 年 月 日

鹿児島大学大学院  
連合農学研究科長 殿

請求者 現住所 \_\_\_\_\_  
電 話 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印  
専 攻 \_\_\_\_\_  
受験番号 \_\_\_\_\_

私の入試成績について、情報の開示を請求します。

#### 注意事項

1. 請求者は、本学大学院連合農学研究科の受験生本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）
2. 小論文の評価（可否）、口頭試問の評価点数を開示します。
3. 開示期間は合格者発表後2ヶ月間とし、開示請求は、平日（土曜日・日曜日・祝日を除く。）の9時から17時までの間受け付けますので、受験票を添えて請求してください。
4. 郵送の場合は、「入試成績開示請求書」、「受験票」及び「書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒」を同封した書留郵便により、鹿児島大学連合農学研究科連大事務係に請求してください。  
なお、必ず電話番号を記入してください。連絡が取れないと開示できない場合があります。

# 鹿児島大学大学院連合農学研究科（後期3年だけの博士課程）の概要

## 1. 設置の趣旨

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、日本の食料生産基地である九州・沖縄において、農水産業のさらなる発展を目指し、環境と調和した安定的な食料生産および技術革新を担う指導者の養成を目的に、佐賀大学、琉球大学と鹿児島大学が連合し、多彩な教員組織を構築して、研究施設及び設備も連合しながら教育研究体制を作り、社会・世界に貢献する博士を輩出する博士課程大学院である。温帯から熱帯資源の生産・利用を中心に地域・国際農水産学、環境農水産学及び先端生命化学に関する高度の専門的能力と豊かな学識をそなえた研究者を養成し、斯学の進歩と農水産業および地域の発展に寄与することを目的とする。また、社会人並びに外国人留学生、特に中国及び東南アジア等の諸国から農水産学系の留学生希望者を積極的に受け入れ、東アジアにおける農学の教育研究の中核となることを目的とするものである。

## 2. 教学上の特色

- (1) 本研究科では、学生1人について主指導教員1人のほかに副指導教員2人を指定する。従って学生1人につき3人の指導教員がつくことになる。
- (2) 本研究科では、必修科目（農学特別講義：2単位、特別演習：2単位、特別研究6単位）、選択必修科目として基礎科目（専攻別基礎特論：0.5単位）・発展科目（専攻別特論：0.5単位）及び選択科目として共通科目の中から1単位以上合わせて12単位以上修得し、これらの履修を論文提出の必須条件としている。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成大学に配属され、研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備も利用することができる。

### 3. 専攻名と連合講座の概要

専攻名	連合講座名	連合講座の概要
生物生産科学	熱帯資源・植物生産科学	九州・沖縄地域を中心とした、温帯から亜熱帯までの植物資源の分類・導入・収集・保存・利用、生理生態機能の解明、栽培管理技術の向上、先端技術による育種、種苗の増殖、施設栽培の高度化などによる作物の生産能力向上と栽培技術の改良・高度化に加え、熱帯島嶼の環境と生態系に関する研究などについての基礎から応用までの教育と研究を行う。
	動物資源生産科学	我が国有数の畜産地帯である九州・沖縄を背景に、動物遺伝資源の保護と活用、家畜の育種、繁殖、飼養、管理、粗飼料の生産・利用などについて、動物の生理・生態機能や生体機構の解明から家畜生産分野における先端技術領域までも含めて、基礎研究から応用生産技術までを統合した教育と研究を行う。
	地域・国際資源経済学	九州・沖縄地域を中心としながら、世界における（国際的な）農林・水産資源の生産、流通、保護および農林業と水産業に関する生産から流通までの政策と経済、経営主体と組織のあり方、生産物の所有や分配の構造に関する基礎から応用までの教育と研究を行う。
応用生命科学	生物機能化学	微生物から高等動・植物にいたる生物および生体成分の機能を化学的、物理化学的、酵素学的および生物工学的手法により、分子、細胞、組織および生体レベルで究明して生命現象の解明に役立てると共に、有用成分を食品、化粧品、医薬品およびその他の分野に開発・利用して人間の健康生活の向上に役立てる教育と研究を行う。
	食品機能科学	農産物・水産物・畜産物等、資源生物の生体成分と代謝機構及び資源生物に含有される機能性成分やそれら成分間の相互作用等について、主として生化学及び微生物学的側面から追究し、それら資源生物の食品としての栄養生理機能の解明、機能性食品の開発、食品としての付加価値を高めるための加工、保蔵、安全性評価並びにバイオマスの利用等について教育と研究を行う。
	先端応用生命科学	目覚ましい発展を遂げているライフサイエンスを分子、細胞および生体レベルで追究し、遺伝子、タンパク質および生体成分などの機能解明、生体調節機構や分子間相互作用の解明、新機能生理活性物質の探索と利用、食と生活習慣病予防、新バイオテクノロジー技術の開発
	連携大学院タカラバイオ(株)	に関するなどの研究を基礎から応用までの教育と研究を行う。
農水圏資源環境科学	生物環境保全科学	生物資源の生産性向上と保護のため、土壌の理化学的性、合理的施肥法および病原体、害虫、天敵などの分類、生理生態などを主として化学的、生物学的方法により解明し、さらに森林生態系ならびに自然生態系を維持しながら有用植物の最適な管理方法を確立するための教育と研究を行う。
	地域資源環境工学	生物生産の基礎となる土地の整備・保全、水資源の有効利用と水環境の保全、農業施設の構築、労働生産性を高めるための機械の開発や作業の体系化、生産物の貯蔵・輸送施設などの改良・開発、環境情報の収集、生物と機械及び森林環境保全、砂防、木質資源の有効利用について、主として物理学的、工学的的方法により達成するための教育と研究を行う。
	水産資源環境科学	近年、食糧蛋白源としてのみならず、我々の健康をまもり、あるいは増進する食品としてその重要性が注目されている水産資源、特に九州から熱帯・亜熱帯における、維持・管理・利用について、水産生物、漁業学、海洋学、漁場環境学、水産増養殖学などの専門分野から究明するため、幅広い視野から高度な教育と研究を行う。

別表

主指導教員の専門科目・教育研究分野一覧

専攻	連 合 講 座	主指導教員氏名・所属	専 門 科 目	教 育 研 究 分 野
生 物	熱 帯 資 源 ・ 植 物 生 産 科 学	穴 井 豊 昭 (佐賀大学)	植 物 分 子 育 種 学	突然変異と形質転換技術を用いた高等植物の改良
		一 色 司 郎 (佐賀大学)	蔬 菜 花 卉 園 芸 学	園芸作物の遺伝と育種
		古藤田 信 博 (佐賀大学)	園 芸 学 ・ 植 物 生 理 学	カンキツ遺伝資源および園芸作物の生理と機能ゲノミクス
		鈴 木 章 弘 (佐賀大学)	作 物 生 理 学	高等植物と微生物との共生メカニズム
		鄭 紹 輝 (佐賀大学)	熱 帯 作 物 学	熱帯マメ科作物の生態生理及び栽培様式
		藤 田 大 輔 (佐賀大学)	植 物 育 種 学	熱帯作物の遺伝及び改良
		嬉 野 健 次 (琉球大学)	園 芸 学	園芸作物の遺伝と育種
		川 満 芳 信 (琉球大学)	熱 帯 作 物 学	熱帯作物の光合成とバイオマス生産
		モハメド アムザド ホサイン (琉球大学)	作 物 生 産 学	熱帯作物生産および雑草管理
		一 谷 勝 之 (鹿児島大学)	植 物 育 種 ・ 遺 伝 学	作物のゲノミクス・遺伝・育種
		坂 上 潤 一 (鹿児島大学)	熱 帯 作 物 学	熱帯・亜熱帯作物の生態と生理
		志 水 勝 好 (鹿児島大学)	作 物 学	作物および有用植物の形態, 生態, 生理および栽培
		山 本 雅 史 (鹿児島大学)	果 樹 園 芸 学	果樹の遺伝, 育種及び遺伝資源
生 産 科	動 物 資 源 生 産 科 学	和 田 康 彦 (佐賀大学)	動 物 遺 伝 育 種 学	家畜・家禽のゲノム解析と遺伝子発現解析
		及 川 卓 郎 (琉球大学)	応 用 動 物 遺 伝 学	動物における遺伝現象の解明と育種への応用
		佐 野 文 子 (琉球大学)	家 畜 環 境 衛 生 学	人獣共通真菌感染症
		建 本 秀 樹 (琉球大学)	動 物 繁 殖 生 物 学	動物生殖細胞における細胞生理ならびに人為的操作
		岡 本 新 (鹿児島大学)	動 物 遺 伝 資 源 学	動物遺伝資源の保存と活用
		後 藤 貴 文 (鹿児島大学)	食 肉 科 学	栄養, おいしさ, および疾病予防に貢献する食肉の生産から加工まで包含した先端科学的探究
		下 桐 猛 (鹿児島大学)	動 物 遺 伝 学	動物集団の分子遺伝学的手法による評価と活用
		中 西 良 孝 (鹿児島大学)	家 畜 管 理 学	家畜の行動と飼養管理
		三 好 和 睦 (鹿児島大学)	動 物 発 生 工 学	動物における発生工学的技術の開発と応用
学	地 域 ・ 国 際 資 源 経 済 学	藤 村 美 穂 (佐賀大学)	村 落 社 会 学	農山村の生活組織と環境変化
		大 田 伊久雄 (琉球大学)	森 林 政 策 学	森林関連の法制度や持続可能な森林管理に関する国際比較研究
		内 藤 重 之 (琉球大学)	農 業 市 場 学	農業市場と食料流通
		李 哉 洵 (鹿児島大学)	農 業 経 営 学	フードシステムにおける農業経営の戦略
		坂 井 教 郎 (鹿児島大学)	農 業 経 済 学	農業政策・農業構造分析
		佐 野 雅 昭 (鹿児島大学)	水 産 経 済 学	水産業に関わる経済問題の分析
		豊 智 行 (鹿児島大学)	農 業 市 場 学	農産物流通の主体行動と成果



別表

主指導教員の専門科目・教育研究分野一覧

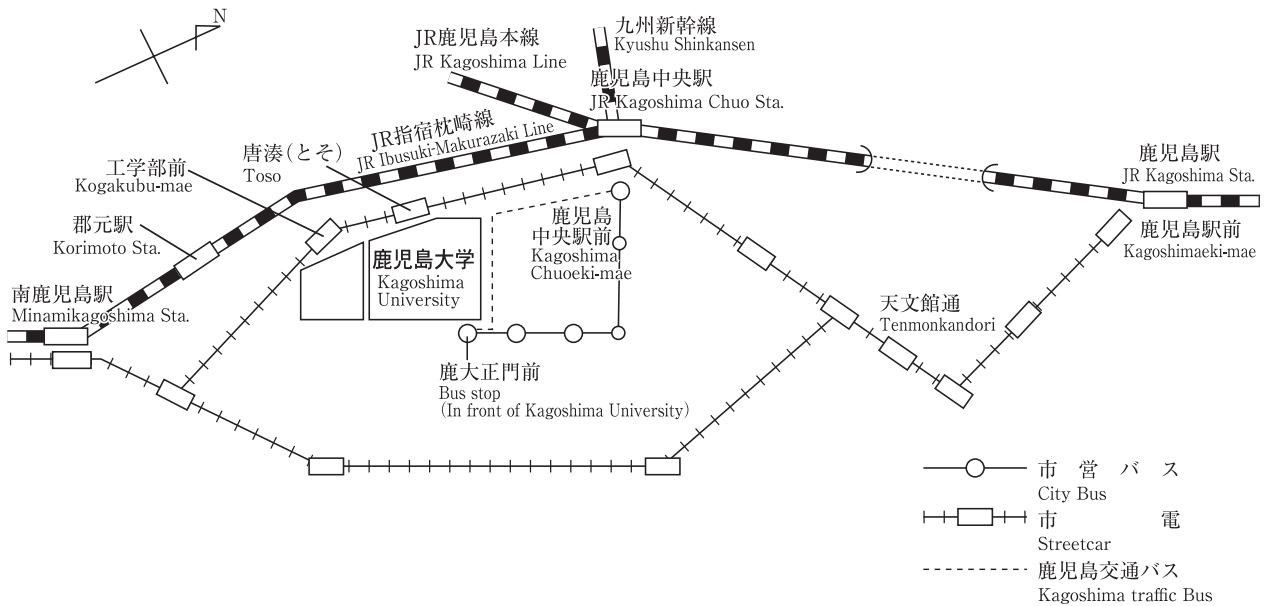
専攻	連 合 講 座	主指導教員氏名・所属	専 門 科 目	教 育 研 究 分 野
応 用	生 物 機 能 化 学	北 垣 浩 志 (佐賀大学)	発 酵 微 生 物 学	発酵微生物の細胞内小器官・物質代謝解析とその産業的利用
		小 林 元 太 (佐賀大学)	応 用 微 生 物 学	有用微生物の分離とバイオマスの有効活用
		後 藤 正 利 (佐賀大学)	応 用 微 生 物 学	糸状菌の機能解析と利用
		金 子 哲 (琉球大学)	糖鎖科学・酵素科学	植物細胞壁多糖・海藻多糖の分解と利用
		高 畠 幸 司 (琉球大学)	応 用 きのこ学	食用・薬用きのこの生理と生態および栽培
		寺 嶋 芳 江 (琉球大学)	応 用 菌 類 学	菌類(きのこ)の機能生態と有効利用
		外 山 博 英 (琉球大学)	微 生 物 生 化 学	有用微生物の分子生物学と微生物酵素の機能開発
		北 原 兼 文 (鹿児島大学)	応 用 糖 質 化 学	根菜類の糖質化学
		玉 置 尚 徳 (鹿児島大学)	応 用 分 子 微 生 物 学	真核微生物の機能解析
		ムンデランジ キャサリン ムタンゲーイ、 フェスターガード (鹿児島大学)	[ナノ]バイオテクノロジー	食品や農業分野等におけるバイオセンサーおよびバイオミメティック技術の応用
		藤 田 清 貴 (鹿児島大学)	応 用 糖 質 化 学	糖質分解酵素の機能解析と利用
		二 神 泰 基 (鹿児島大学)	応 用 微 生 物 学	醸造微生物の解析と分子育種
吉 崎 由美子 (鹿児島大学)	生 物 化 学, 発 酵 化 学	食品の特徴的香り成分の分析とその生成メカニズムの解明		
生 命 科 学	食 品 機 能 科 学	永 尾 晃 治 (佐賀大学)	栄 養 化 学	食品成分の栄養生理機能, 生体内の糖・脂質代謝
		濱 洋一郎 (佐賀大学)	生 物 資 源 化 学	複合糖質の構造と機能
		林 信 行 (佐賀大学)	食 品 化 学 工 学	バイオマスの有用物質への変換および機能性物質の抽出
		和 田 浩 二 (琉球大学)	食 品 分 析 学	食品成分およびその機能性の分析
		井 尻 大 地 (鹿児島大学)	栄養生化学・飼料化学	初期成長期の栄養に関する研究
		イブラヒム ヒッサム ラドワン (鹿児島大学)	食 品 タ ン パ ク 質 分 子 機 能 化 学	食品タンパク質およびペプチドの生理機能メカニズムを分子レベルで解明及びその医薬品への応用
		大 塚 彰 (鹿児島大学)	栄養生化学・飼料化学	体タンパク質ならびに脂質の代謝調節に関する分子機構
		上 西 由 翁 (鹿児島大学)	海 洋 生 物 工 学	海洋生物の遺伝子解析とその利用
		小 松 正 治 (鹿児島大学)	食 品 機 能 ・ 安 全 学	水圏天然化合物・食品の機能発現機序
塩 崎 一 弘 (鹿児島大学)	糖 鎖 生 物 学	複合糖質の生理機能解析		
先 端 応 用 生 命 科 学	先 端 応 用 生 命 科 学	石 丸 幹 二 (佐賀大学)	植 物 生 理 化 学	植物のバイオテクノロジーと二次代謝成分の利用
		宗 伸 明 (佐賀大学)	分 析 化 学 ・ 材 料 化 学	新規生体・環境分析法の開発, 生体分子の材料応用
		永 野 幸 生 (佐賀大学)	生 化 学 ・ 分 子 生 物 学	真核生物の生化学・分子生物学
		光 武 進 (佐賀大学)	脂 質 生 化 学 ・ 食 品 機 能 学	細胞膜脂質の生理機能とその食品への応用
		渡 邊 啓 一 (佐賀大学)	応 用 生 物 化 学	タンパク質の立体構造と機能発現機構
		屋 宏 典 (琉球大学)	遺 伝 子 資 源 利 用 学	遺伝子及び遺伝子産物の有効利用
		小 西 照 子 (琉球大学)	植 物 生 理 学 ・ 糖 質 科 学	植物細胞壁多糖の構造と機能および生合成機構
		平 良 東 紀 (琉球大学)	酵 素 科 学	微生物および植物由来酵素の機能解析
		石 橋 松 二 郎 (鹿児島大学)	応 用 微 生 物 学	微生物によるタンパク質生産とタンパク質工学
		侯 徳 興 (鹿児島大学)	食 品 機 能 化 学 ・ 分 子 生 物 学	食品・天然化合物の機能および分子機構
		高 峯 和 則 (鹿児島大学)	焼 酎 学 ・ 発 酵 科 学	発酵食品の機能性および香気解析
		橋 本 文 雄 (鹿児島大学)	園 芸 学	遺伝生化学と化学分類学
		榎 竜 嗣 (タカラバイオ株式会社)	先 端 バイオテクノロジー	再生医療関連技術の産業応用
		大野木 宏 (タカラバイオ株式会社)	先 端 バイオテクノロジー	食品資源の生物活性評価による機能性解析
峰 野 純 一 (タカラバイオ株式会社)	先 端 バイオテクノロジー	細胞・遺伝子治療関連技術の産業応用		

別表

主指導教員の専門科目・教育研究分野一覧

専攻	連 合 講 座	主指導教員氏名・所属	専 門 科 目	教 育 研 究 分 野		
農 水 圏 資 源 環 境 科 学	生物環境保全科学	上野 大介 (佐賀大学)	環境分析化学	環境汚染物質の化学分析と改善法の究明		
		大島 一里 (佐賀大学)	植物病理学	植物病原ウイルスの分子進化と分子生態、植物とウイルスの相互利用		
		草場 基章 (佐賀大学)	植物病理学	植物-微生物間相互作用の分子遺伝学的解析		
		徳田 誠 (佐賀大学)	システム生態学	植物・昆虫を中心とした生物間相互作用の解析		
		野間口 眞太郎 (佐賀大学)	行動生態学	動物の行動を介した個体間関係の解析		
		早川 洋一 (佐賀大学)	昆虫学	昆虫の生化学、分子生物学的研究		
		吉賀 豊司 (佐賀大学)	線虫学	線虫の生理・生態的研究		
		梶田 忠 (琉球大学)	植物多様性科学	系統分類学, 系統地理学, 集団遺伝学等を含む植物の多様性研究		
		鬼頭 誠 (琉球大学)	植物栄養学	マメ科植物を中心にした窒素, リン栄養		
		立田 晴記 (琉球大学)	進化生物学	野生生物の種分化および変異の生成機構の解明		
		田場 聡 (琉球大学)	植物病理学	熱帯性植物病害の同定および環境配慮型防除技術の開発		
		辻 瑞樹 (琉球大学)	進化生態学	個体, 個体群, 生態系に関する進化的観点からの総合的研究		
		池永 誠 (鹿児島大学)	土壌微生物学	土壌および植物微生物生態系の構造と機能に関する研究, 新規微生物の特性解析と分類に関する研究		
		岩井 久 (鹿児島大学)	植物病理学	亜熱帯性植物の病気の診断と制御		
		鵜川 信 (鹿児島大学)	育林学・森林生態学	人工林育成技術の開発, 木本群落維持機構の解明		
		農 水 圏 資 源 環 境 科 学	地域資源環境工学	境 雅夫 (鹿児島大学)	土 壤 学	土壌生態系の構造と機能の解析および土壌微生物機能の利用
坂 卷 祥 孝 (鹿児島大学)	体 系 学			陸上節足動物の形態学および行動学的研究		
津 田 勝 男 (鹿児島大学)	昆 虫 学			害虫の生物的防除, 天敵微生物の利用		
近 藤 文 義 (佐賀大学)	環 境 地 盤 学			軟弱地盤の理工学的性質の把握および環境に配慮した地盤改良材の開発		
田 中 宗 浩 (佐賀大学)	農 業 工 学			農産物の品質保持, バイオマス循環利用技術		
弓 削 こずえ (佐賀大学)	灌 漑 工 学			農地における水管理技術の高度化と農業用水の多面的機能の定量評価		
酒 井 一 人 (琉球大学)	環 境 水 文 学			農業流域における物質循環の解析		
中 村 真 也 (琉球大学)	土 地 環 境 保 全 学			農村地域における持続的土地利用と土砂災害に関する教育研究		
岡 勝 (鹿児島大学)	森 林 利 用 学			木材生産に及ぼす作業条件の解明, 生産性とコストの評価		
芝 山 道 郎 (鹿児島大学)	生 物 計 測 学			作物計測・リモートセンシング		
寺 本 行 芳 (鹿児島大学)	砂 防 学			土砂災害の発生のしくみとその予測		
西 野 吉 彦 (鹿児島大学)	木 材 工 学			木材の物性の究明と木質資源の利用		
初 井 和 朗 (鹿児島大学)	水 資 源 学			淡水資源の保全と有効利用に関する水文学的解析		
安 樂 和 彦 (鹿児島大学)	水 産 工 学			動物生理学と漁具漁法		
農 水 圏 資 源 環 境 科 学	水産資源環境科学			石 川 学 (鹿児島大学)	水 族 栄 養 化 学	水棲動物における栄養素の利用と代謝
				宇 野 誠 一 (鹿児島大学)	環 境 化 学	化学物質による環境汚染と生物影響評価
		大 富 潤 (鹿児島大学)	水 産 資 源 学	魚介類, 特にエビ・カニ類と魚類の資源生態と資源管理		
		久 米 元 (鹿児島大学)	魚 類 生 態 学	魚類の生活史研究, 保全生態学		
		小 谷 知 也 (鹿児島大学)	水 産 増 殖 学	増養殖対象種の種苗生産と餌料生物		
		小 針 統 (鹿児島大学)	生 物 海 洋 学	動物プランクトンの生理学, 生産生態, 生物地球化学的循環		
		寺 田 竜 太 (鹿児島大学)	海 産 植 物 学	海藻・海産顕花植物の分類学, 生理学, 生態学		
		中 村 啓 彦 (鹿児島大学)	海 洋 物 理 学	海洋力学, 海洋物理観測, 観測データ解析		
		西 隆 一 郎 (鹿児島大学)	沿 岸 環 境 学	沿岸域の環境モニタリングおよび予測		
		パズケス アーチデイル ミゲル フェデリコ (鹿児島大学)	漁 業 工 学	動物生理学と漁具/漁法		
		本 村 浩 之 (鹿児島大学)	魚 類 学	魚類の分類・進化・生物地理学		
		山 本 淳 (鹿児島大学)	魚 病 学	養殖魚類の感染症診断・予防・治療		
		山 本 智 子 (鹿児島大学)	生 態 学	底生生物の群集生態学		
		吉 川 毅 (鹿児島大学)	海 洋 微 生 物 学	微生物による水圏環境の保全		

# 交通機関利用略図



## バス路線案内

### Bus Line Information

バス路線 Bus Line		鹿児島中央駅前（東口）乗り場 Kagoshima Chuo Station East Exit Bus Stop
市営バス City Bus	⑨ 武岡・鴨池港	東 15 E 15
	⑪ 鴨池・冷水	
	⑳ 緑ヶ丘・鴨池港	
鹿児島交通バス Kagoshima traffic Bus	⑲ 紫原・桜ヶ丘	東 22 E 22

## 鹿児島大学大学院連合農学研究科

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

T E L 099-285-8795

F A X 099-285-8799

The United Graduate School of Agricultural Sciences  
Kagoshima University

1-21-24, Korimoto, Kagoshima, 890-0065. JAPAN

TEL 099-285-8795

FAX 099-285-8799